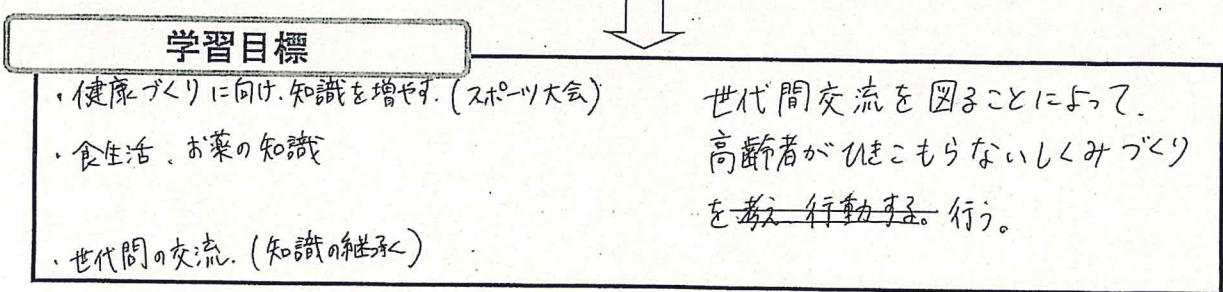
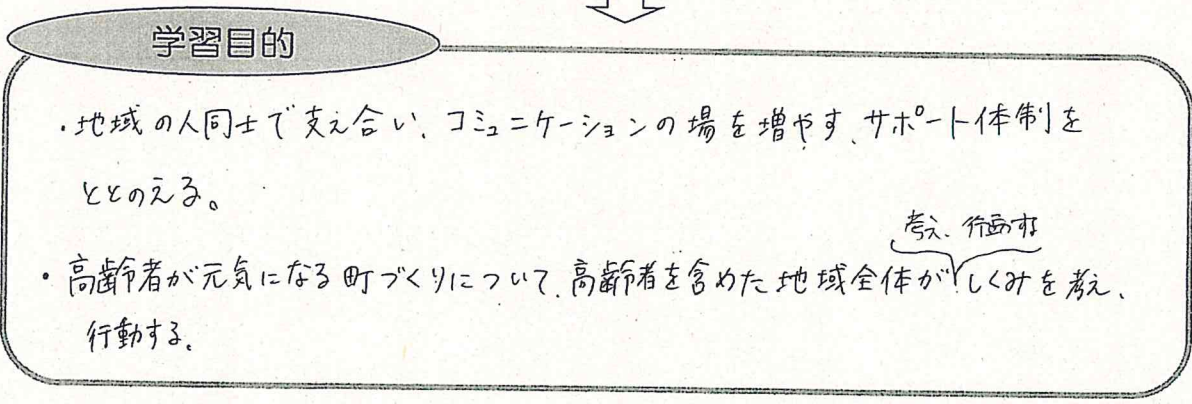
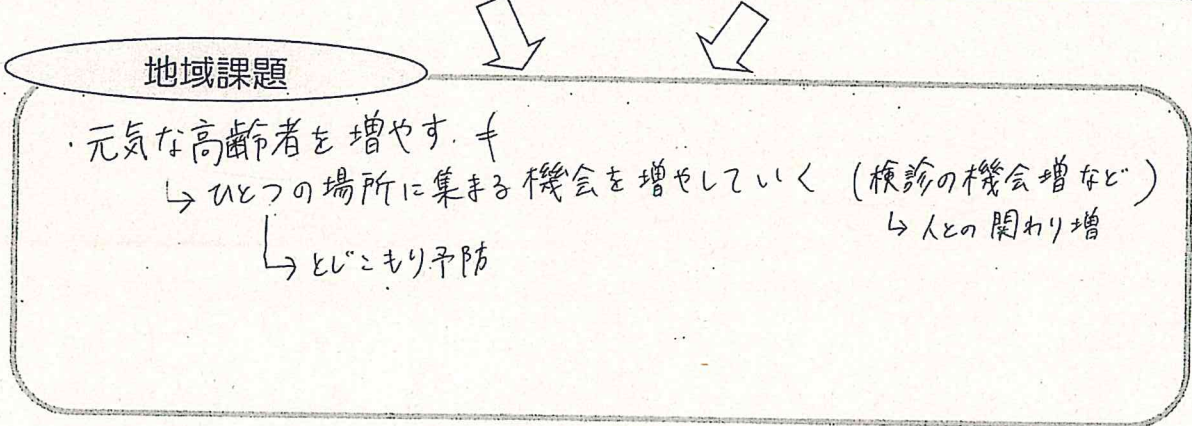
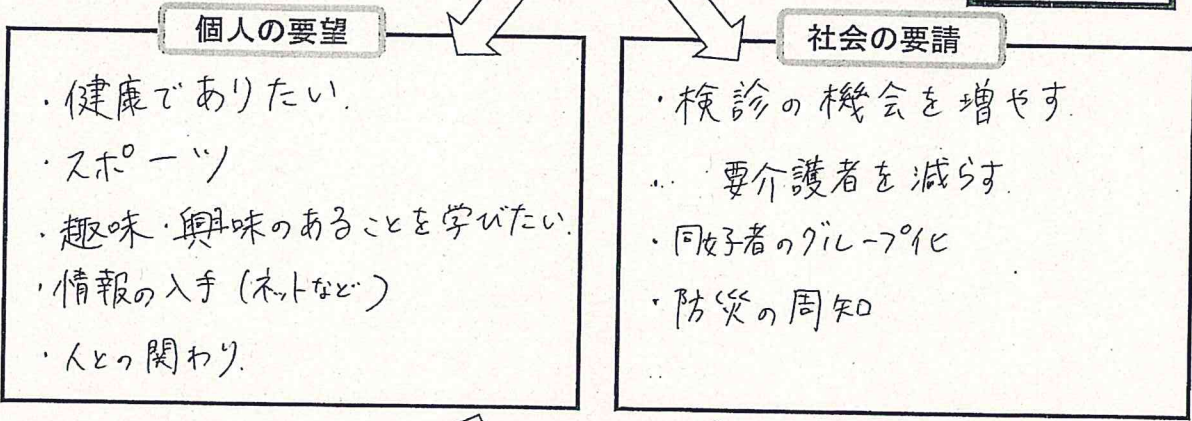


学習プログラム開発をしよう

シートA (記入用)

(F) グループメンバー ()

テーマ	高齢者教育	市の概要	B
-----	-------	------	---



1 学習目的

高齢者が元気になる町づくりについて、高齢者を含めた地域全体が考え、行動が出来るようにする。

2 学習目標

世代間交流を図ることによって、高齢者がひきこもらないしくみづくりを行う。

3 プログラム名

歴史ヒストリアスタンプラリー～

4 対象・定員

60歳以上の高齢者、小学生(小1～小3は保護者同伴) 20人
※メンバー参加者

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

300
2
500 (保険料含む)

6 事前に必要な知識や準備物

・町についての文献史料(主催者側・参加者側)

地図 カメラ

7 留意点

- ・交通安全面(老人クラブの方に横断歩道に立ってもらうなど)への配慮
- ・高齢者の方がゆっくり歩いて1時間くらいの範囲
- ・雨天延期

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
10月中旬	郷土史の掘り起し 私達のまちを 知ろう!	◎郷土を知ってから知識を共有する。 ・お菓子をつまみながら昔の話を聞く。 ・高齢者の方から、その土地についての歴史を聞き、(神社・寺など)あげてもらう。 ・郷土史研究家の方に、小学生へ向けかみくだいた話をしてもらう。	郷土史研究家 民生委員 (参加者を7名) (際の実援者)	公民館	アンケート
10月下旬	現状把握 私達のまち の地図を作ろう	◎郷土に愛着をおぼえる。 ・ルート決定 (老人クラブの方の助言を受けながら) スタンプラリーのマップの作成 ・マップは1つで、ポイントごとにグループわけして、説明文などを付け加えていく。	老人クラブ	公民館	アンケート
秋頃 (11月はじめ)	私達のまちを 歩こう!	◎郷土の理解を深める。 当日参加者にスタンプラリーマップにそって、地域をまわってもらい、郷土史を知ってもらう。 ※わからないときは、お助けコーナーを設置して可。	老人クラブ	野外	アンケート